

野鳥生態研究の先駆者

仁部 富之助

にべ とみのすけ

出身地 由利本荘市（旧岩城町）

1882年（明治15年）～1947年（昭和22年）

イネの品種陸羽132号の開発や、品種改良、農業普及に携わる。長年にわたり自宅周辺で野鳥の生態観察を行う。主著『野の鳥の生態』のほか、野鳥生態の報告・研究を数多く発表。「鳥のファール」と称された。



年譜

- 1882年 由利本荘市（旧岩城町）に生まれる。
- 1901年 秋田県農学校卒業。農事試験場陸羽支場雇。
- 1910年 寺尾博技師のもと、水稻の品種改良に着手。
余暇に野鳥観察を始める。
- 1915年 「敦公の蕃殖に関する研究」を発表。
- 1923年 行政整理に際し、依願退官。
- 1925年 農商務省嘱託となり、以後野鳥の研究の
観察研究に専念する。
- 1936年 『野の鳥の生態』を刊行。
- 1947年 大仙市（旧大曲市）で没。64歳。